

経営デザインシートを活用する効果を体感し、新価値創造の実践の体験をすることを通じ、経営デザインシートの使い手を育成

一人ひとりの専門性に「広義のデザイン力」を掛け合わせ、高度デザイン人材に成長するための社会人向けスクールにおいて、経営デザインシートについて学び、実際の企業の経営課題解決提案において活用する取り組みを行っている。

経営デザインシートの活用方法

WORKSHOP-オンライントレーニング-

ワークショップ形式で、サービス事業創出の基礎を学ぶと共に、**経営デザインシートの基本と活用法を学ぶ。**

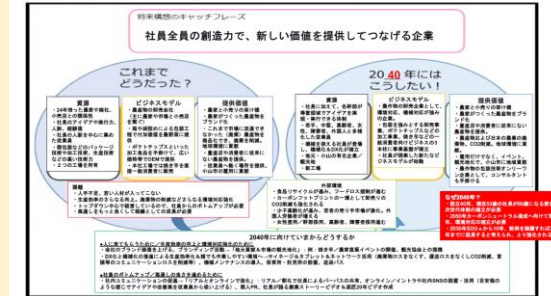
FIELDWORK-フィールドワーク-

地域の中小企業を訪問して彼らのリアルな課題をチームで解決。スクールで学んだ高度デザイン人材に求められる知識・スキルと自身の専門性をフル活用し、対象企業の「パーパスづくり」「新規事業創出」といった課題に取り組む中で**経営デザインシートを活用する。**

事例：対象企業のパーパスを策定する目的で経営デザインシートを活用

社会人スクール受講生による対象企業のパーパス策定チームが、対象企業のありたい未来を引き出し、これを現状と比較することで課題を明確化した。
このプロセスを通じて、パーパスの言語化を行うとともに、対象企業の未来像とその実現プロセスを具体的に描き出すことができた。

経営デザインシート



フィールドワークで経営デザインシートを活用した感想・効果

- 「未来に向かって今何が足りないか？ 今やるべきことの優先順位がイメージできる」（FW先経営者）
- 「修了後もヘルスケア分野の戦略経営コンサルタントとして、経営層に対する事業戦略立案支援において活用し続けている」（修了生）
- 「複数人で協議する際に、議論している場所がどこかがわかる」「欄が限られていることで言葉を厳選する必要があり、シンプルな情報・メッセージになる」（修了生）